



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,722	△23.7	253	△44.5	243	△43.5	220	△40.1
28年12月期第2四半期	2,256	4.6	457	—	430	—	368	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 225百万円(△39.3%) 28年12月期第2四半期 371百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	32.59	31.79
28年12月期第2四半期	54.53	52.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,862	3,006	77.4
28年12月期	3,699	2,798	75.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,991百万円 28年12月期 2,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年12月期	—	0.00			
29年12月期(予想)			—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,482	△9.2	375	△25.1	353	△26.0	297	△11.9	43.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	6,782,120株	28年12月期	6,779,120株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	3,155株	28年12月期	3,125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	6,778,280株	28年12月期2Q	6,763,455株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に企業収益の改善が続き、雇用や所得環境についても改善傾向にあり、緩やかな回復基調が継続しております。一方、海外では、米国新政権の不安定さや欧州での英国のEU離脱問題、中国や新興国の景気減速等、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は1,722,293千円（前年同期比23.7%減）、営業利益は253,830千円（前年同期比44.5%減）となりました。

また、経常損益につきましては、支払利息2,132千円、為替差損5,174千円を計上したこと等により、243,703千円の経常利益（前年同期比43.5%減）となりました。純損益につきましては、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純損益を控除したことにより、220,958千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比40.1%減）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来の「コンテンツソリューション事業」、「クリエイターサポート事業」、「UI/UX事業」の3報告セグメントの区分について、「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めることとし、「クリエイターサポート事業」と「UI/UX事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。以下の前年同期比較につきましては、変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」が、Windows 10を搭載したペン入力対応デバイスとホイール型デバイスのSurface Dial に最適化、Windows ユニバーサルアプリ版「CLIP STUDIO PAINT」をWindows ストアより提供を開始しました。

また、「CLIP STUDIO PAINT DEBUT」をバンドルした、サードウェアデジノス製の筆圧ペンつき8インチWindows タブレット「raytrektab DG-D08IWP」が、全国の量販店及びEC サイトにて発売されました。

この他、セルシスのブラウザビューア「BS Reader for Browser」とメディアドゥのコンテンツ配信システム「md-dc」を組み合わせたブラウザビューアソリューションを共同で提供しており、講談社の「じぶん書店」に採用されました。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動を支援するwebサイト「CLIP STUDIO」においては、平成29年6月末時点の登録者数は87万人となっております。

以上の結果、売上高は1,230,979千円（前年同期比12.7%増）、営業利益は239,368千円（前年同期比61.4%増）となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、前期に引き続き、自動車（四輪・二輪）関連分野、並びに業務用・コンシューマー用プリンター等向けに、UIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」を始めとする自社IP製品の開発と販売に注力しております。

従来より、自社IP製品のお客様における早期導入及び拡販を目的として、車載向けSoCプラットフォームとして世界的なシェアを誇るルネサスエレクトロニクス株式会社のアライアンスパートナープログラムに加盟しておりましたが、本年度は昨年の協業活動実績を認められ「ゴールドパートナー」に認定されました。

また、次世代の車のIoT時代に向けて、移動体向け車両情報伝達ソフトウェア「exbeans VI Transfer」と組込機器向け汎用Webアプリケーションプラットフォーム「exbeans Affinity」を組み合わせることで、様々な車両情報を活用した新たなサービス事業、及び機器の開発に貢献すべく、乗用車のメーカーのみならず、各種業務用車両等に向けても、引き続き営業、提案活動を行っております。

以上の結果、売上高は535,871千円（前年同期比54.4%減）、営業損失は8,091千円（前年同期は301,041千円の営業利益）となりました。

なお、本セグメントにおける前第2四半期連結累計期間の売上高1,174,587千円につきましては、前第3四半期累計期

間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高275,903千円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて162,475千円増加し3,862,160千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が125,414千円、ソフトウェアが72,587千円減少した一方で、売掛金が114,168千円、ソフトウェア仮勘定が137,936千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて45,554千円減少し855,912千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が32,945千円、長期借入金が21,408千円増加した一方で買掛金が9,105千円、短期借入金が116,690千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて208,029千円増加し3,006,247千円となりました。この主な要因は、資本金が2,211千円、資本剰余金が2,211千円、利益剰余金が200,630千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、77.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,152,234	2,026,820
売掛金	259,294	373,463
製品	4,333	2,961
仕掛品	3,894	10,691
原材料及び貯蔵品	16,660	17,828
その他	107,154	174,770
貸倒引当金	△1,432	△4,799
流動資産合計	2,542,140	2,601,734
固定資産		
有形固定資産		
建物	66,689	73,622
減価償却累計額	△42,564	△44,516
建物(純額)	24,124	29,106
工具、器具及び備品	205,415	221,304
減価償却累計額	△179,534	△184,450
工具、器具及び備品(純額)	25,881	36,853
車両運搬具	—	3,924
減価償却累計額	—	△653
車両運搬具(純額)	—	3,271
建設仮勘定	6,029	—
有形固定資産合計	56,035	69,231
無形固定資産		
ソフトウェア	857,312	784,724
ソフトウェア仮勘定	22,430	160,366
その他	32,163	30,740
無形固定資産合計	911,906	975,831
投資その他の資産		
投資有価証券	58,517	84,673
敷金及び保証金	111,114	114,411
その他	19,361	16,277
投資その他の資産合計	188,993	215,362
固定資産合計	1,156,935	1,260,425
繰延資産	608	—
資産合計	3,699,684	3,862,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,135	59,029
短期借入金	306,690	190,000
1年内返済予定の長期借入金	50,639	83,584
未払法人税等	27,435	35,426
返品調整引当金	1,281	832
賞与引当金	69,830	127,134
その他	232,126	163,344
流動負債合計	756,137	659,353
固定負債		
長期借入金	36,372	57,780
役員退職慰労引当金	—	16,470
退職給付に係る負債	108,085	119,444
繰延税金負債	871	2,863
固定負債合計	145,328	196,558
負債合計	901,466	855,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,056,688	1,058,899
資本剰余金	535,815	538,026
利益剰余金	1,190,994	1,391,624
自己株式	△2,946	△2,992
株主資本合計	2,780,551	2,985,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	796	5,459
その他の包括利益累計額合計	796	5,459
新株予約権	16,870	15,229
純資産合計	2,798,218	3,006,247
負債純資産合計	3,699,684	3,862,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,256,806	1,722,293
売上原価	1,286,117	902,357
売上総利益	970,689	819,936
返品調整引当金戻入額	2,305	1,281
返品調整引当金繰入額	2,634	832
差引売上総利益	970,360	820,384
販売費及び一般管理費	512,944	566,553
営業利益	457,416	253,830
営業外収益		
受取利息	144	37
受取配当金	425	432
その他	2,709	22
営業外収益合計	3,279	492
営業外費用		
支払利息	3,147	2,132
為替差損	22,743	5,174
その他	3,830	3,312
営業外費用合計	29,721	10,619
経常利益	430,974	243,703
特別利益		
新株予約権戻入益	145	-
特別利益合計	145	-
特別損失		
投資有価証券評価損	6,766	-
特別損失合計	6,766	-
税金等調整前四半期純利益	424,352	243,703
法人税等	52,144	22,745
四半期純利益	372,208	220,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,362	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,846	220,958

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	372,208	220,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△300	4,663
その他の包括利益合計	△300	4,663
四半期包括利益	371,908	225,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,545	225,621
非支配株主に係る四半期包括利益	3,362	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上 高	1,082,218	1,174,587	2,256,806	—	2,256,806
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	10,498	—	10,498	△10,498	—
計	1,092,716	1,174,587	2,267,304	△10,498	2,256,806
セグメント利益	148,348	301,041	449,390	8,025	457,416

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、アプリケーション事業とUI/UX事業を集約し、UI/UX事業として表示する方法に変更しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上 高	1,186,618	535,675	1,722,293	—	1,722,293
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	44,361	195	44,557	△44,557	—
計	1,230,979	535,871	1,766,851	△44,557	1,722,293
セグメント利益	239,368	△8,091	231,276	22,553	253,830

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来の「コンテンツソリューション事業」、「クリエイターサポート事業」、「UI/UX事業」の3報告セグメントの区分について、「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めることとし、「クリエイターサポート事業」と「UI/UX事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第2四半期連結累計期間につきましては、変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。